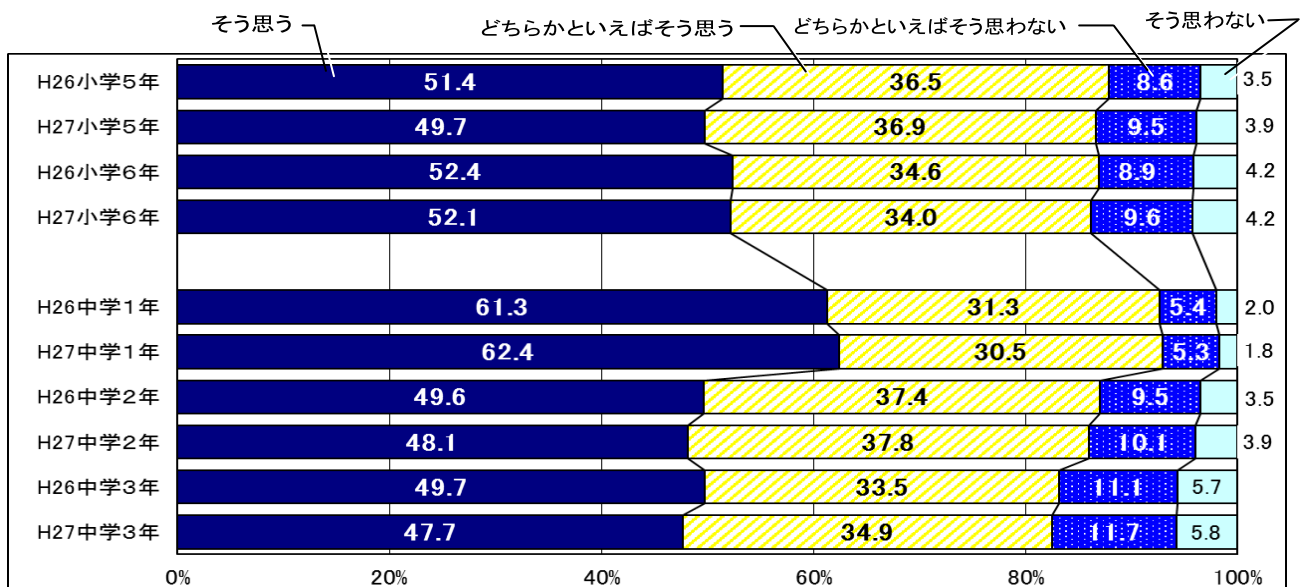


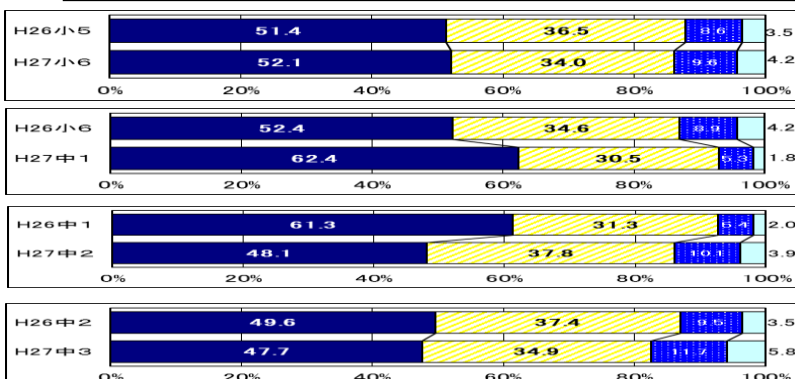
(4) 学校生活、家庭生活についての児童生徒の意識・実態について

- 「学校に行くのは楽しいと思う」という問いについては、中学1年を除く全ての学年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が前年度を下回っている。 [グラフ 31-1]
- 「学校では落ち着いて勉強することができている」という問いについては、小学5年で、肯定的な回答をした児童の割合が減少している。 [グラフ 32-1]
- 平日2時間以上テレビやビデオ・DVDを視聴する児童生徒の割合が、小学6年と中学2年で減少している。 [グラフ 33-1]
- 平日2時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合は、小学6年と中学3年で増加している。その他の学年では全て、前年度を下回っている。 [グラフ 34-1]
- 平日に、携帯電話やスマートフォンを使用していると回答した児童生徒の割合は、小学6年、中学3年ともに、前年度を上回っている。 [グラフ 35-1]
- テレビ等の視聴時間、ゲームをする時間、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が長いほど、教科平均正答率が低くなっている。 [グラフ 33-3, 34-3, 35-2]
- 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合は、中学3年を除く全ての学年で減少している。 [グラフ 37-1]
- 「新聞やテレビ、インターネットのニュースを読んだり見たりする」という問いについては、全ての学年で、肯定的な回答をした児童生徒の割合が前年度を上回っている。 [グラフ 38-1]
- 「将来の夢や目標をもっている」という問いについては、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、学年進行に伴い、減少している。 [グラフ 39-1]

[グラフ 31-1]学校に行くのは楽しいと思う 平成 26～27 年度「同一学年」の経年比較

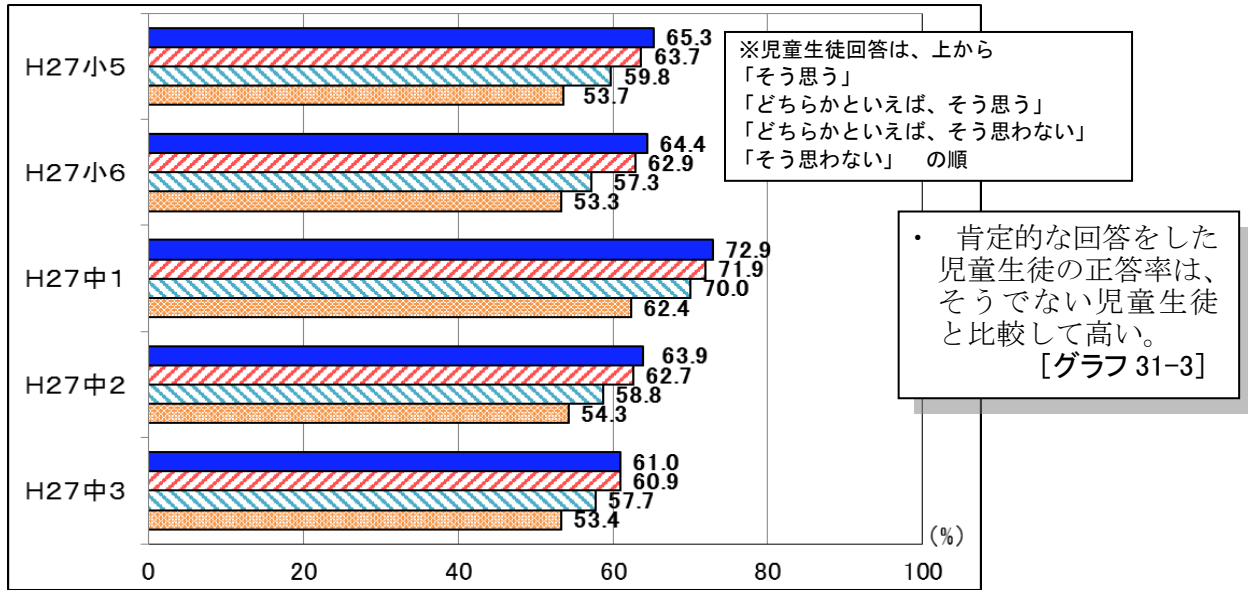


[グラフ 31-2]学校に行くのは楽しいと思う 平成 26～27 年度「同一児童生徒」の経年比較

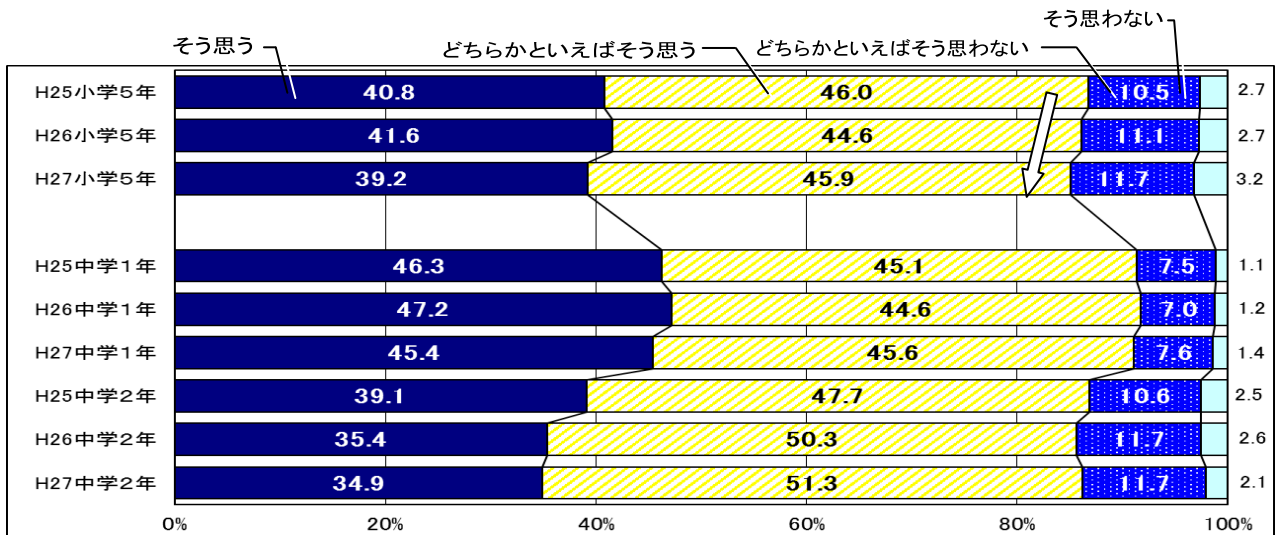


- ・ 「同一学年」の経年比較において、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、中学1年を除く全ての学年で、前年度を下回っている。 [グラフ 31-1]
- ・ 「同一児童生徒」の経年変化をみると、小中学校ともに、学年進行に伴い、肯定的な回答をした児童生徒の割合は減少している。 [グラフ 31-2]

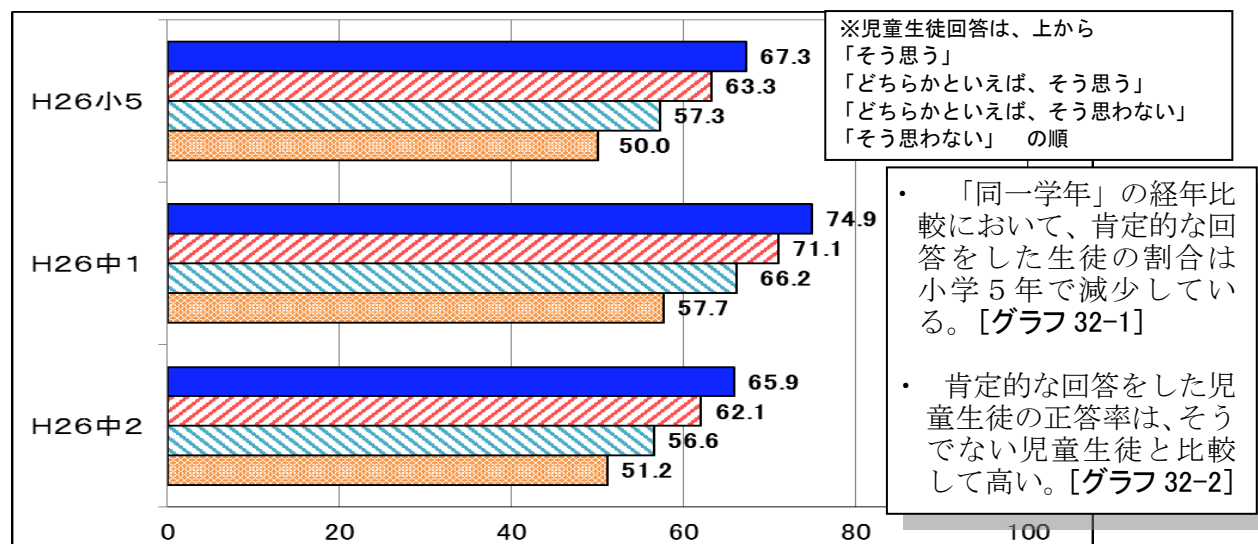
[グラフ 31-3] 「学校に行くのは楽しいと思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



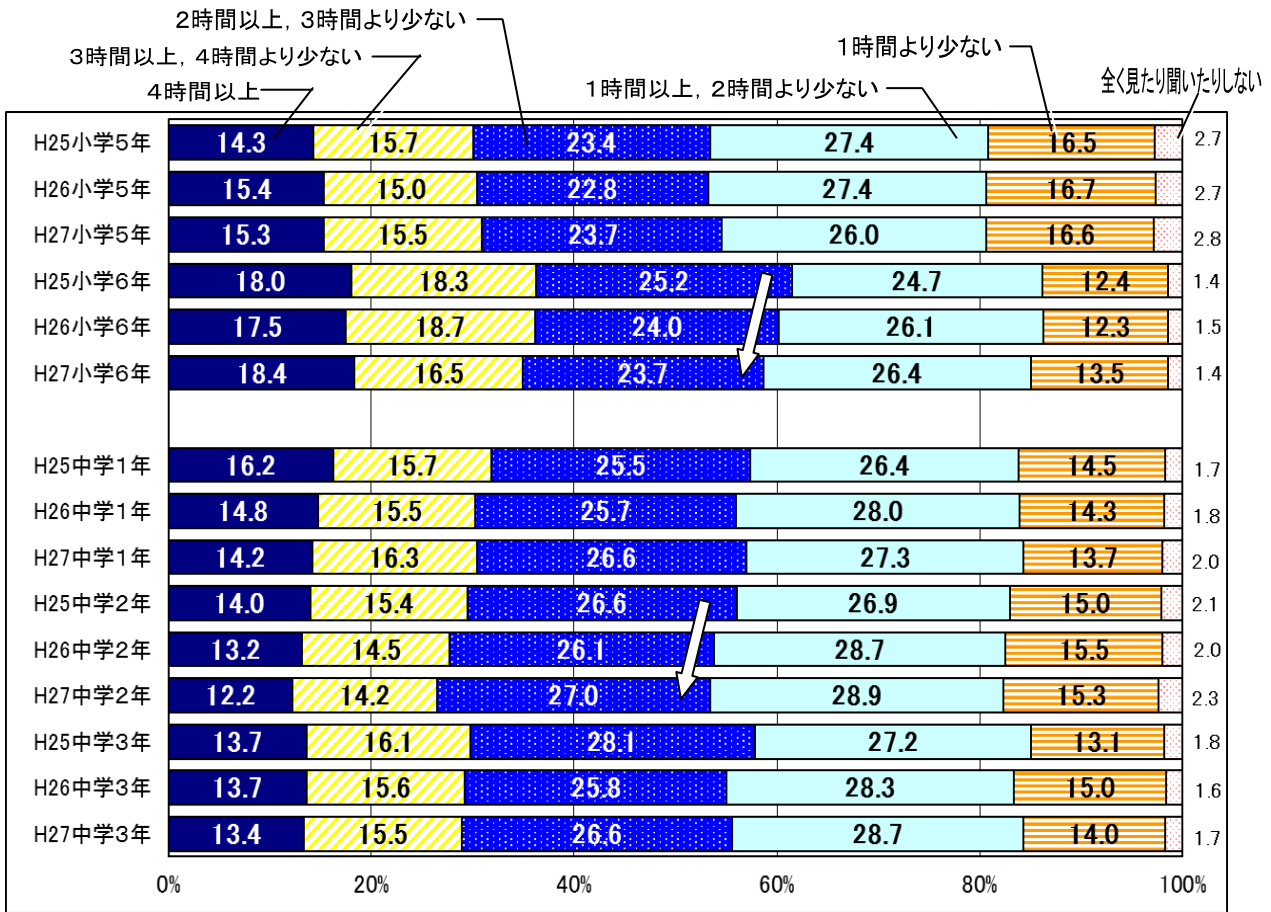
[グラフ 32-1] 学校では落ち着いて勉強することができる 平成 25~27 年度「同一学年」の経年比較



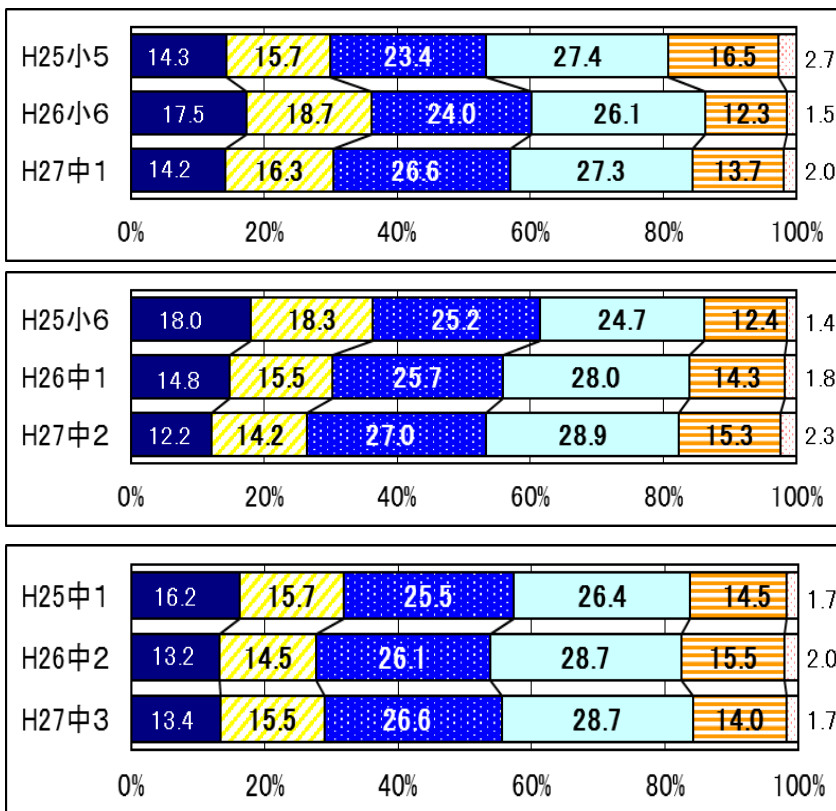
[グラフ 32-2] 「学校では落ち着いて勉強することができる」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



[グラフ 33-1] 1日あたりテレビやビデオ・DVDを視聴する時間(月～金曜日)
平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較(テレビゲームをする時間は除く)



[グラフ 33-2] 1日あたりテレビやビデオ・DVDを視聴する時間(月～金曜日)
平成 25～27 年度「同一児童生徒」の経年比較(テレビゲームをする時間は除く)



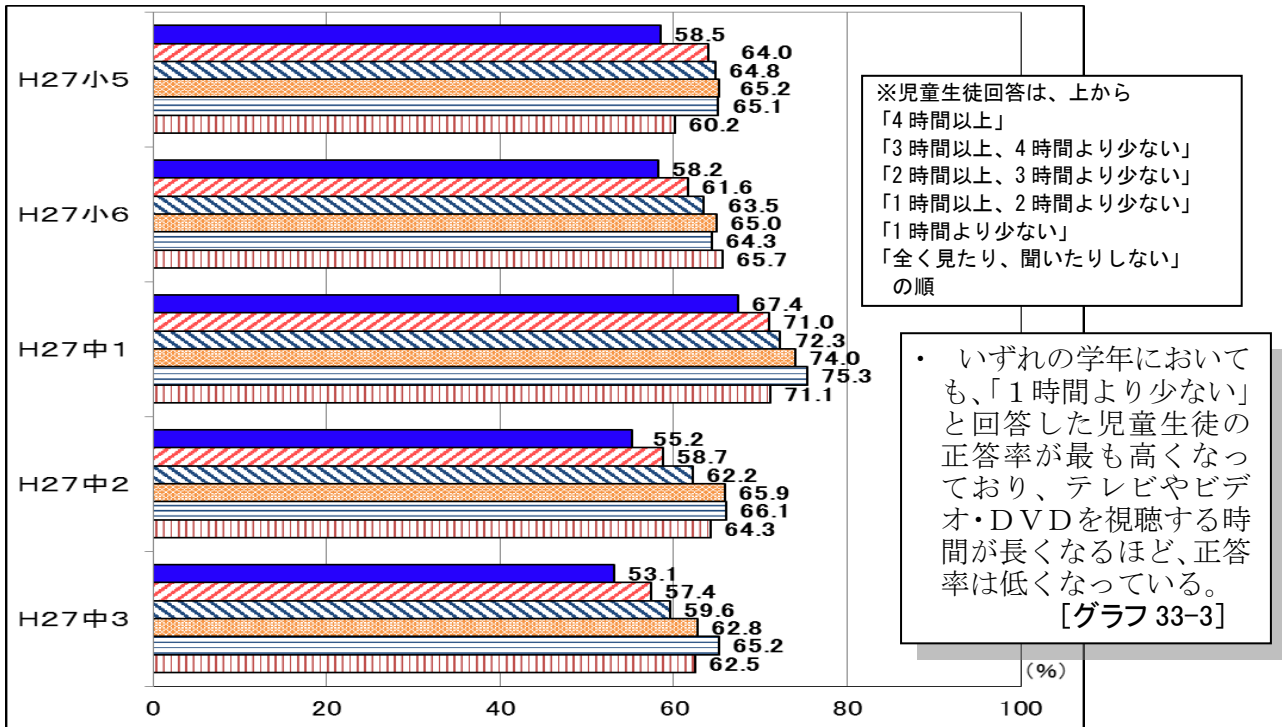
・ 「同一学年」の経年比較において、2時間以上視聴している児童生徒の割合は、小学6年と中学2年で減少している。その他の学年では、目立った傾向は見られないが、いずれも前年度を上回っている。

[グラフ 33-1]

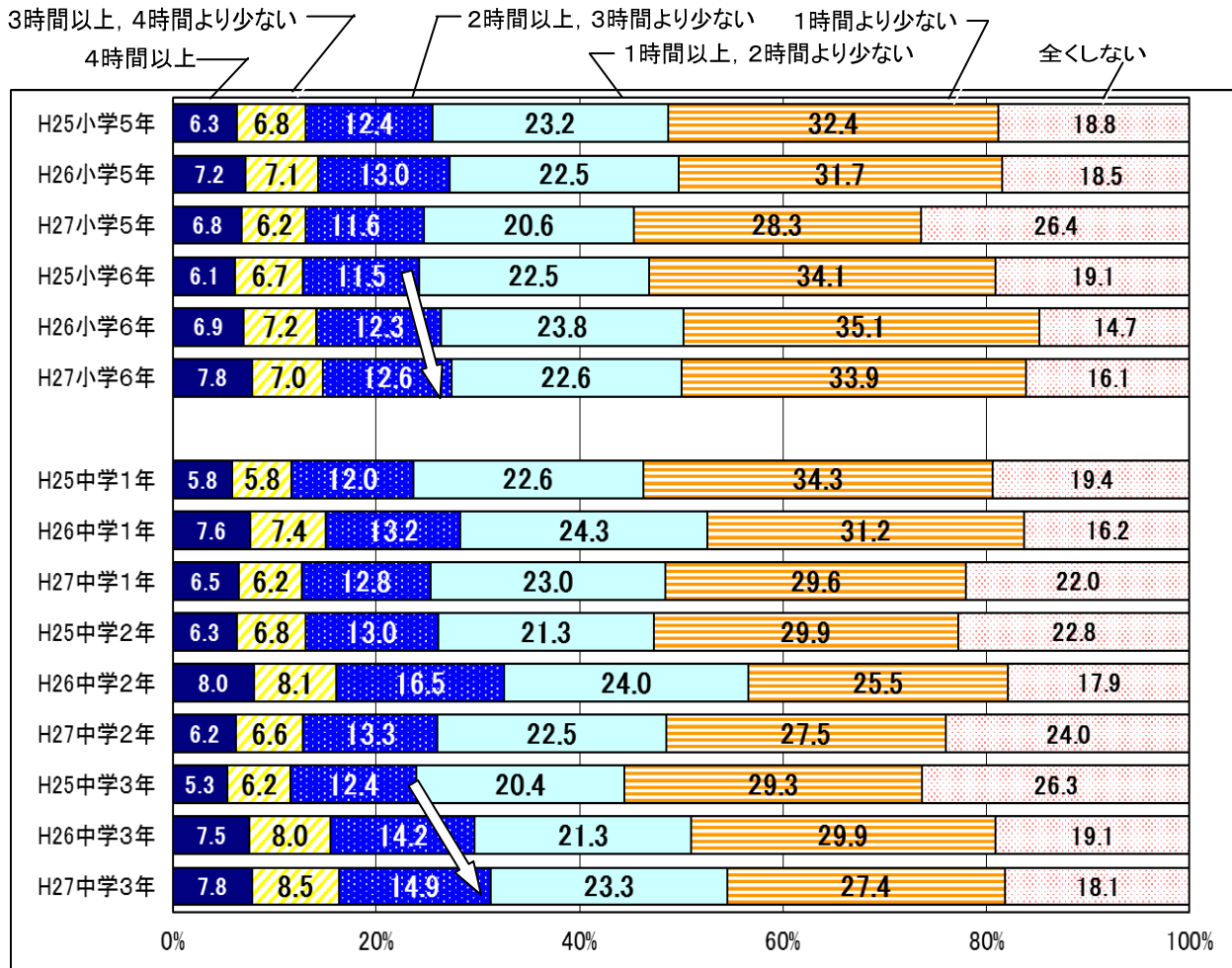
・ 「同一児童生徒」の経年比較において、2時間以上視聴している児童生徒の割合は、小学5年から6年にかけて増加している。また、中学1年から2年にかけては減少しているが、2年から3年にかけては増加している。

[グラフ 33-2]

[グラフ 33-3] 「1日あたりテレビやビデオ・DVDを視聴する時間(月～金曜日 テレビゲームをする時間は除く)」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

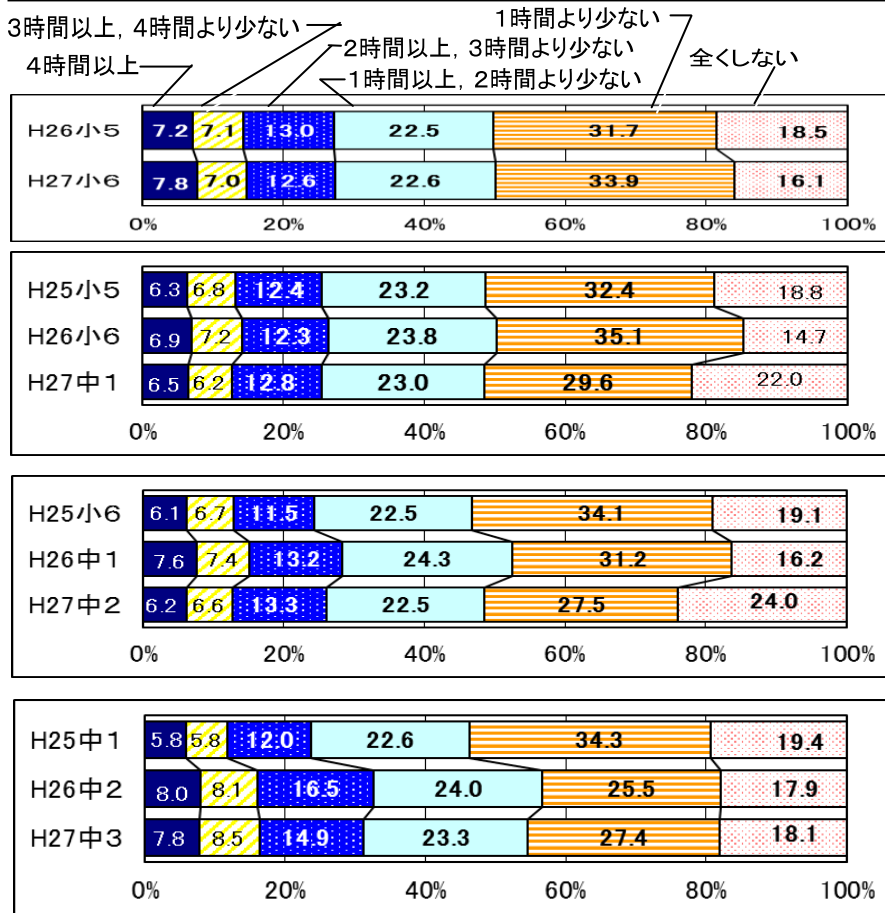


[グラフ 34-1] 1日あたりテレビゲームをする時間(月～金曜日)
 平成 24～26 年度「同一学年」の経年比較(コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む)



[グラフ 34-2] 1日あたりテレビゲームをする時間(月～金曜日)

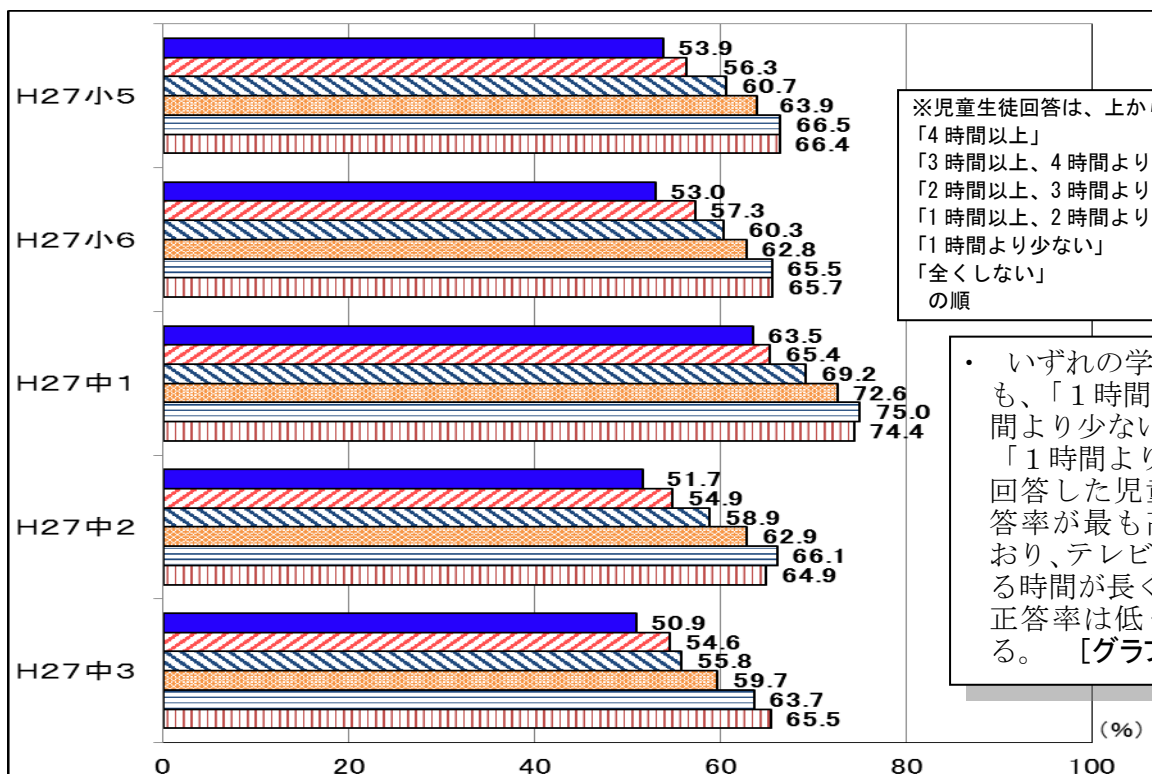
平成 25～27 年度「同一児童生徒」の経年比較(コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む)



・ 「同一学年」の経年比較において、2時間以上テレビゲームをしている児童生徒の割合は、小学6年と中学3年で増加している。その他の学年では、目立った傾向は見られないが、いずれも前年度を下回っている。 [グラフ 34-1]

・ 「同一児童生徒」の経年比較において、2時間以上テレビゲームをしている児童生徒の割合に目立った傾向は見られないが、平成26年度から平成27年度にかけては減少する傾向にある。 [グラフ 34-2]

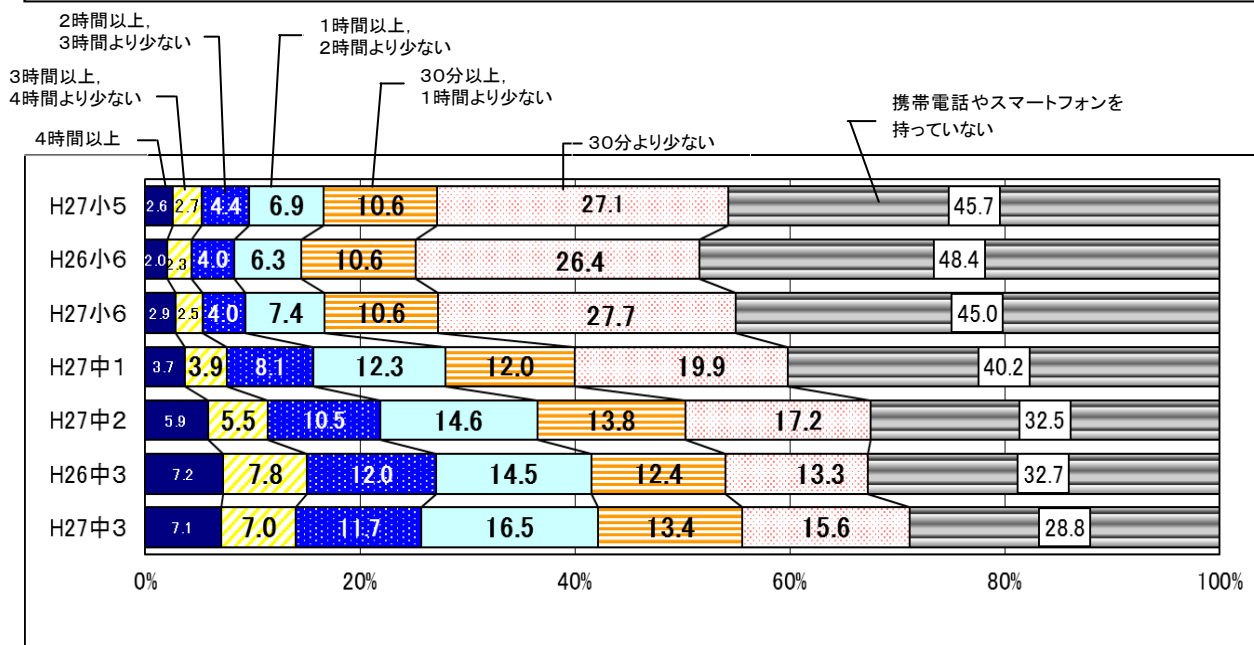
[グラフ 34-3] 「1日あたりテレビゲームをする時間(月～金曜)」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



※児童生徒回答は、上から「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」「1時間より少ない」「全くしない」の順

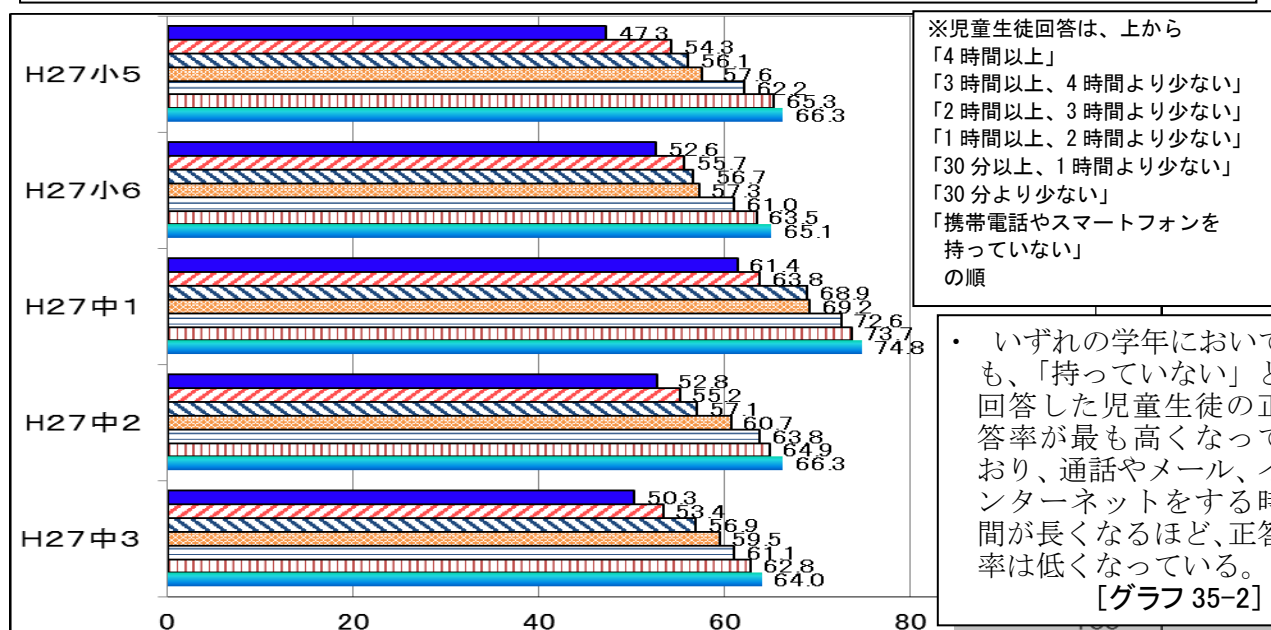
・ いずれの学年においても、「1時間以上、2時間より少ない」もしくは「1時間より少ない」と回答した児童生徒の正答率が最も高くなっており、テレビゲームをする時間が長くなるほど、正答率は低くなっている。 [グラフ 34-3]

[グラフ 35-1] 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをするか ※平成 26 年度は全国調査の結果のみ (携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。)

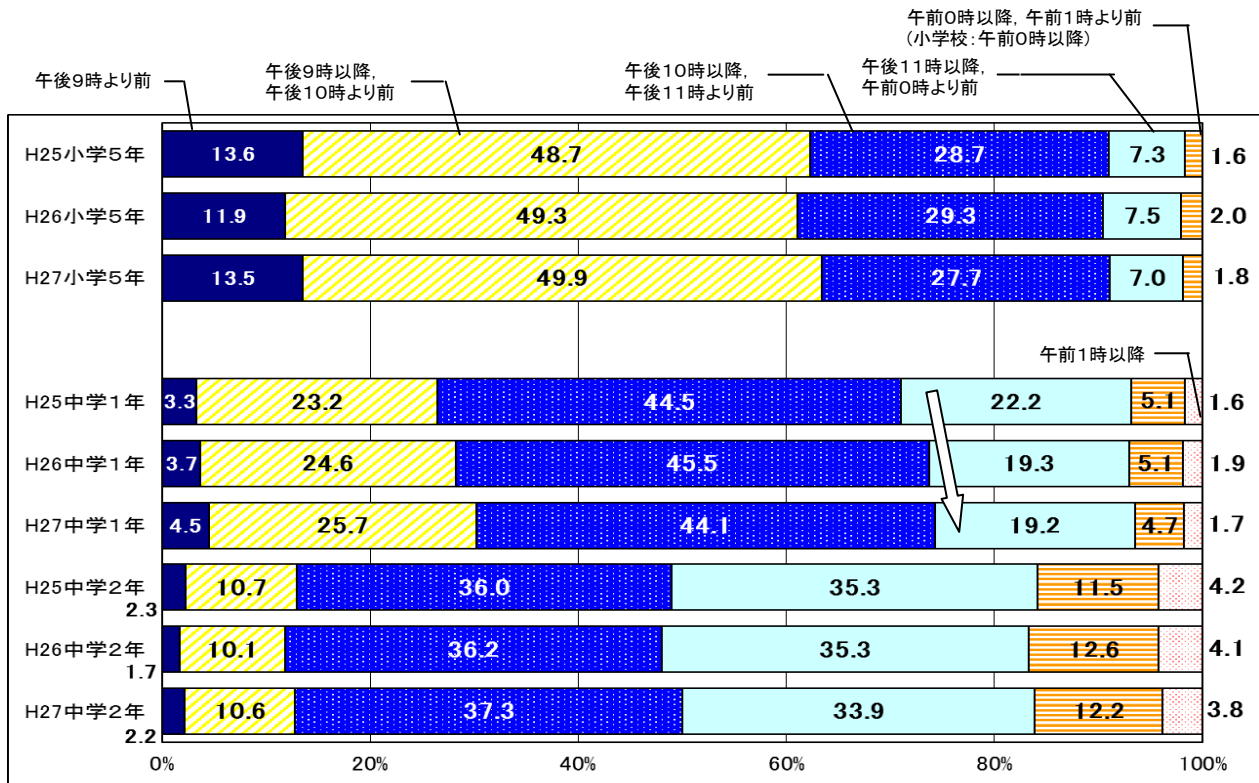


- 1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていると回答した児童生徒の割合は、小学5年と小学6年では大きな違いはないが、中学校では、学年進行とともに増加している。[グラフ 35-1]
- 中学3年では、約4割の生徒が、1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしており、この割合は前年度を上回っている。しかしながら、2時間以上していると回答した生徒の割合は前年度を下回っている。[グラフ 35-1]
- 「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した児童生徒の割合は、小学校で約5割、中学校で約3割。小学6年、中学3年ともに、前年度を下回っている。[グラフ 35-1]

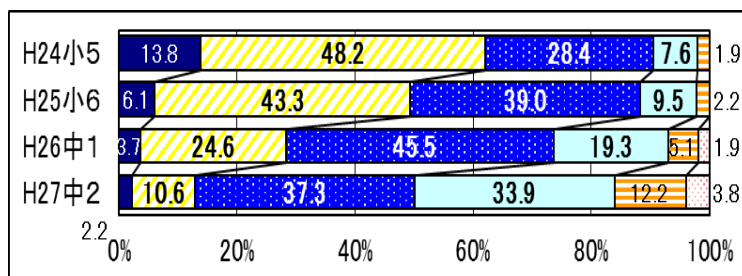
[グラフ 35-2] 「普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをするか」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



[グラフ 36-1] 平日の就寝時刻(月～金曜日) 平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較



[グラフ 36-2] 平日の就寝時刻(月～金曜日)の平成 24～27 年度「同一児童生徒」の経年比較



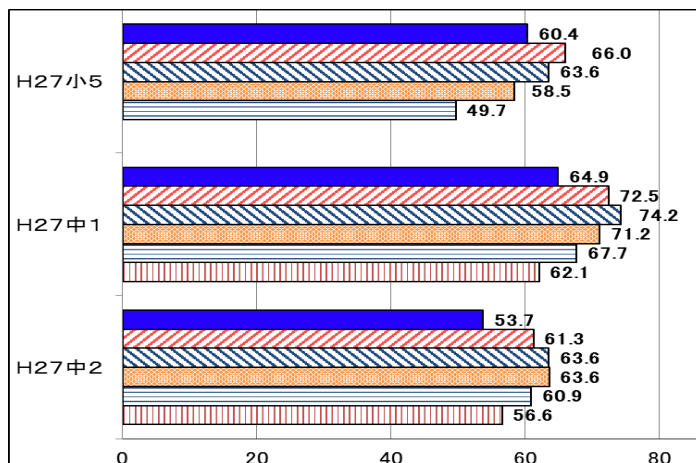
・ 午後 11 時以降に就寝している児童生徒の割合は、小学 5 年で約 1 割、中学 1 年で約 3 割、中学 2 年で約 5 割である。

[グラフ 36-1]

・ 「同一学年」の経年比較において、午後 11 時以降に就寝している児童生徒の割合は、中学 1 年で減少している。[グラフ 36-1]

・ 「同一児童生徒」の経年比較において、学年進行に伴い、平日の就寝時刻は遅くなっている。 [グラフ 36-2]

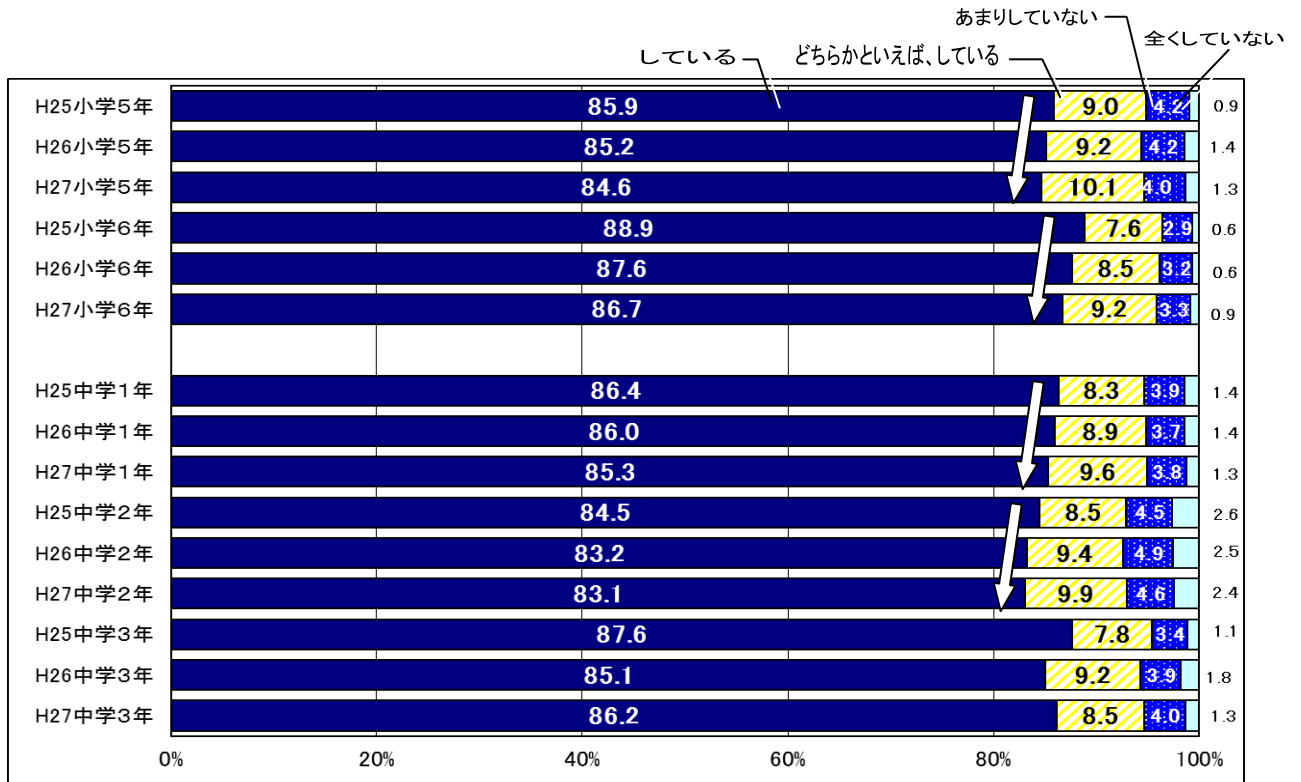
[グラフ 36-3] 平日の就寝時刻(月～金曜日)の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



※児童生徒回答は、上から「午後 9 時より前」「午後 9 時以降、午後 10 時より前」「午後 10 時以降、午後 11 時より前」「午後 11 時以降、午前 0 時より前」「午前 0 時以降、午前 1 時より前 (小学校: 午前 0 時以降)」「午前 1 時以降 (中学校のみ)」の順

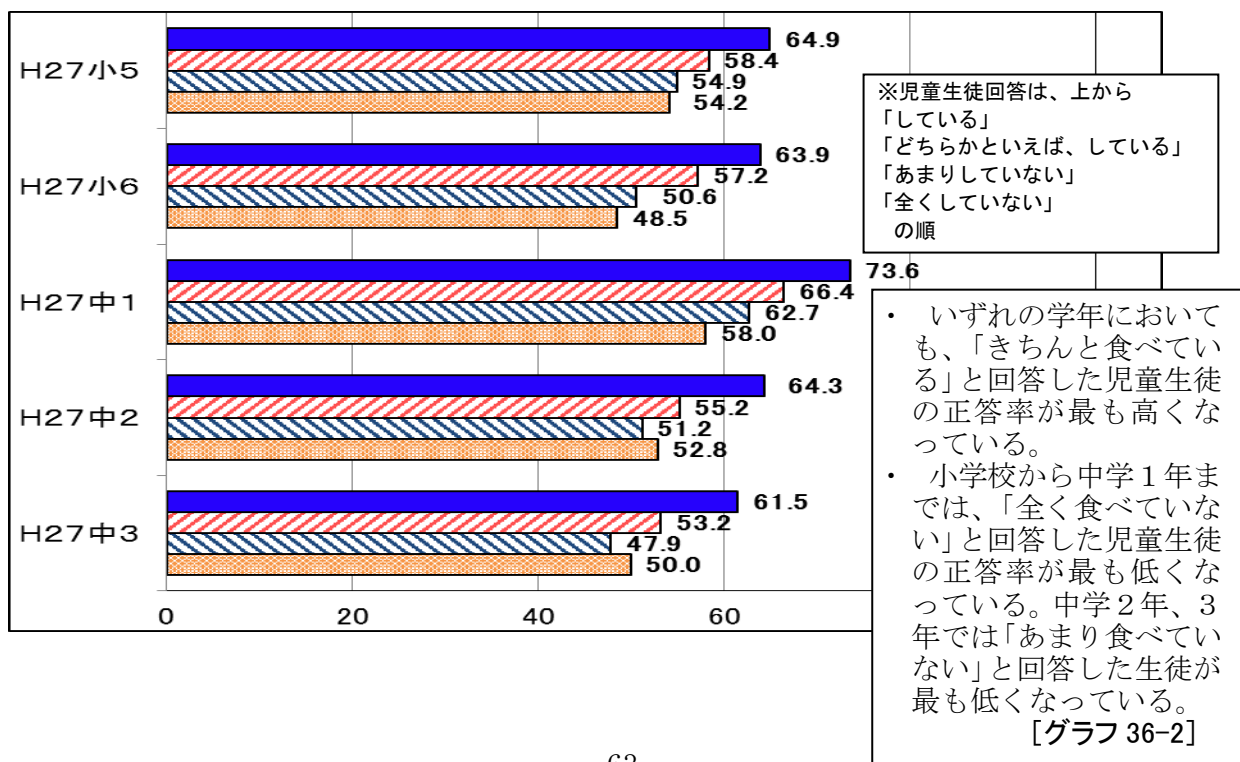
・ 小学 5 年では、午後 9 時以降 10 時より前、中学 1 年では、午後 10 時以降、11 時より前、中学 3 年では、午後 10 時以降、午前 0 時より前と回答した児童生徒の正答率が最も高くなっている。 [グラフ 36-3]

[グラフ 37-1] 朝食を毎日食べている 平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較



- 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒は、いずれの学年でも8割を超えている。
- 「同一学年」の経年比較において、中学3年を除く全ての学年で「毎日朝食を食べている」と回答した児童生徒の割合が減少している。中学3年では、「毎日朝食を食べている」と回答した生徒が前年度を上回っている。

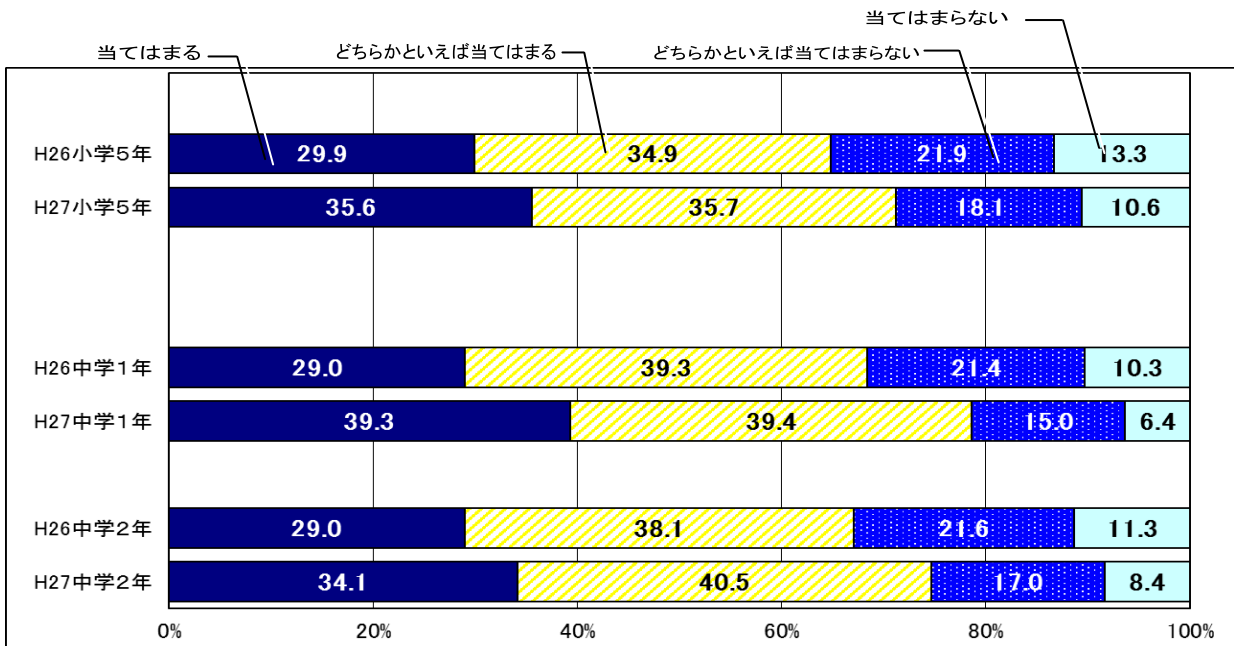
[グラフ 37-2] 「朝食を毎日食べている」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



※児童生徒回答は、上から「している」「どちらかといえば、している」「あまりしていない」「全くしていない」の順

- いずれの学年においても、「きちんと食べている」と回答した児童生徒の正答率が最も高くなっている。
- 小学校から中学1年までは、「全く食べていない」と回答した児童生徒の正答率が最も低くなっている。中学2年、3年では「あまり食べていない」と回答した生徒が最も低くなっている。

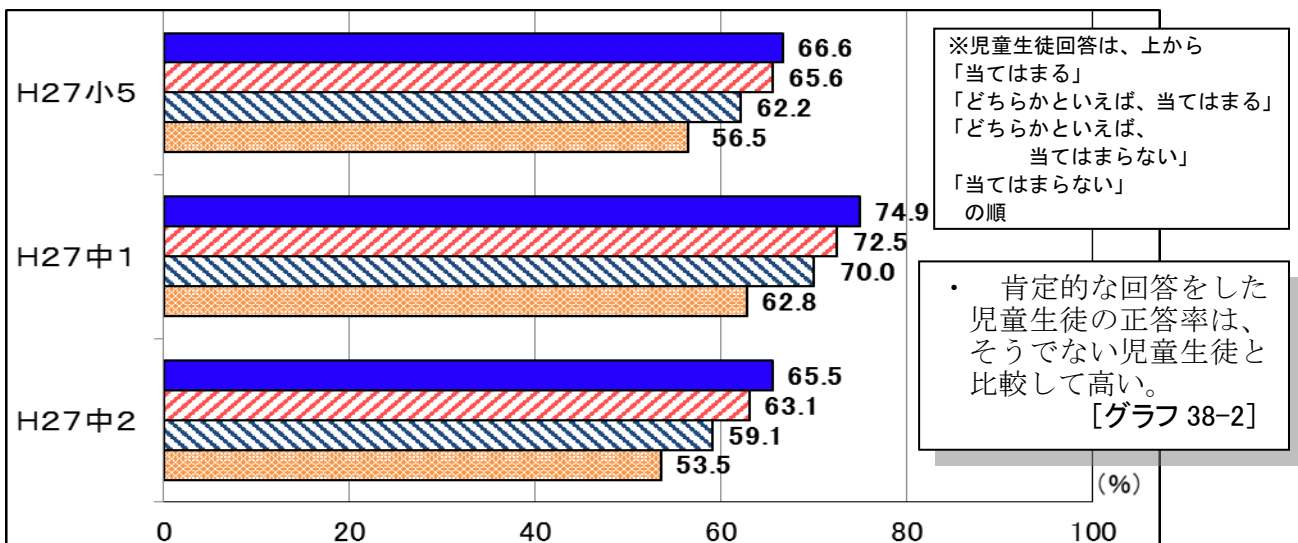
[グラフ 38-1] 新聞やテレビ、インターネットのニュースを読んだり見たりしている
平成 26～27 年度「同一学年」の経年比較



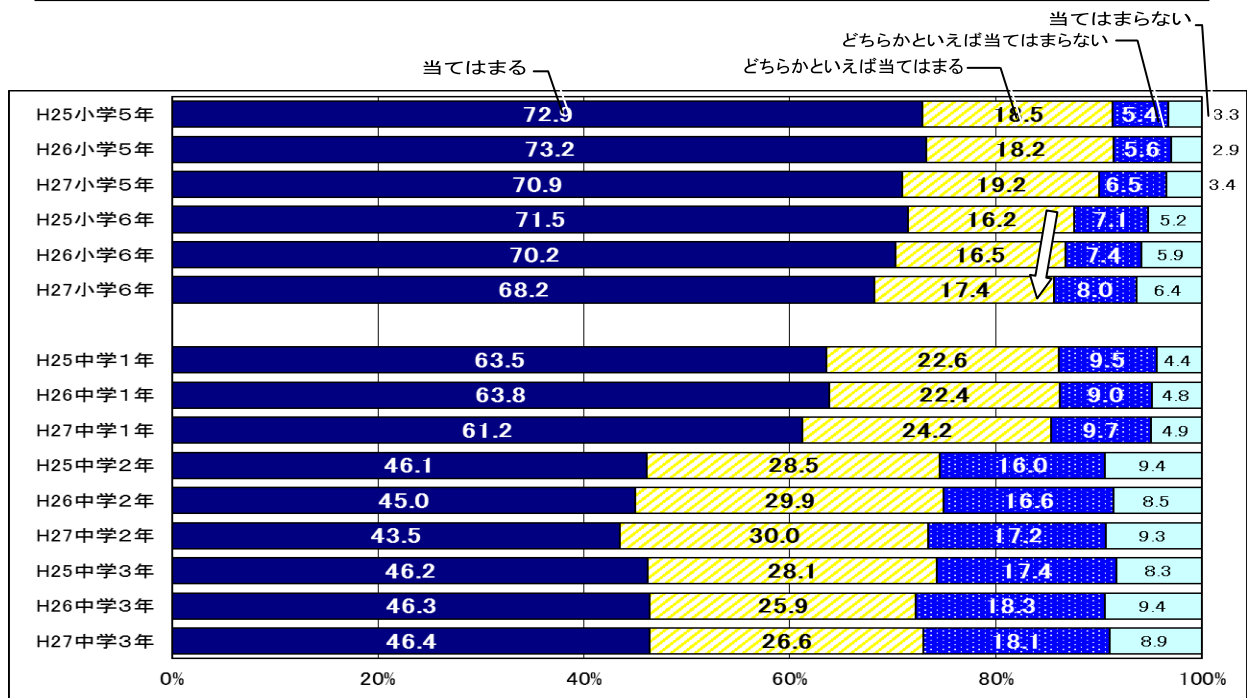
- ・ 「同一学年」の経年比較において、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、いずれの学年も前年度を上回っている。
- ・ 「同一児童生徒」の経年比較において、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、平成 26 年度中学 1 年から平成 27 年度中学 2 年にかけて、増加している。

[グラフ 38-1]

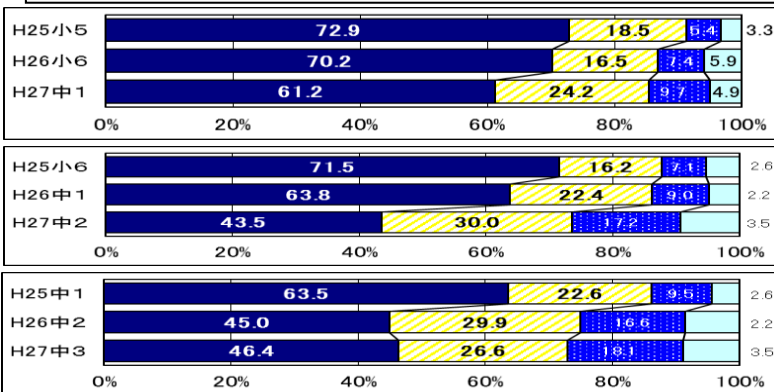
[グラフ 38-2] 「新聞やテレビ、インターネットのニュースを読んだり見たりしている」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



[グラフ 39-1] 将来の夢や目標をもっている 平成 25～27 年度「同一学年」の経年比較



[グラフ 39-2] 将来の夢や目標をもっている平成 25～27 年度「同一児童生徒」の経年比



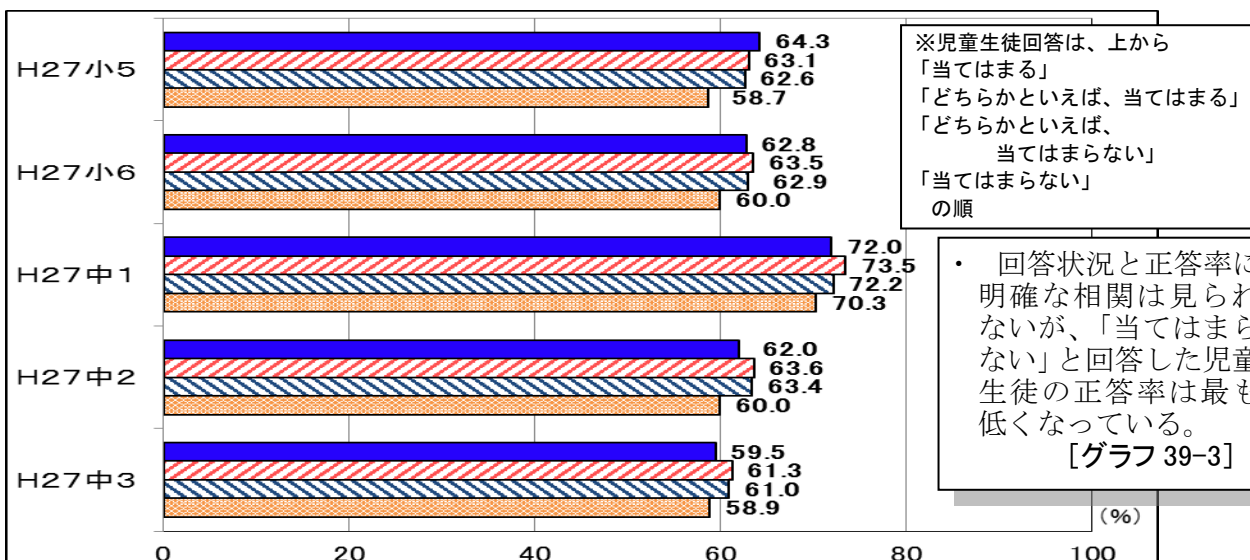
・ 「同一学年」の経年比較において、肯定的な回答をした児童生徒は、小学6年で減少している。その他の学年では目立った傾向は見られない。

[グラフ 39-1]

・ 「同一児童生徒」の経年比較において、肯定的な回答をした児童生徒は、学年進行に伴い、減少している。

[グラフ 39-2]

[グラフ 39-3] 「将来の夢や目標をもっている」の質問に対する回答と教科(国語・算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



※児童生徒回答は、上から「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の順

・ 回答状況と正答率に明確な相関は見られないが、「当てはまらない」と回答した児童生徒の正答率は最も低くなっている。

[グラフ 39-3]